

# 感謝の思いで一杯

2022 年 3 月吉日

副看護部長 山田 展代

この度、異動にあたり久原会会長廣田先生よりお声かけいただきまして、僭越ではございますが一言ご挨拶を述べさせていただきます。

桃色が鮮やかな大村桜に目をやり、心地よい小鳥のさえずりを耳にしながらこの大村の地に一際聳え立つ長崎医療センターに赴任したのは、2019 年 4 月。振り返れば、その年は、MDRA アウトブレイク、病院機能評価受審、2020 年からは今なお世界を翻弄している covid19 感染症対策に看護部の一員として奔走する日々であったと思います。その取り組みの中で、当院の組織としてのスケールの大きさは勿論ですが、ひとたび決めた方策に対しては職員一丸となって動いていくダイナミックさ、一人ひとりのマインド、スペックの高さをしみじみと感じさせていただきました。当院は言うまでもなく高度急性期医療を実践している病院ですが、コロナ禍となりギリギリの状況の中でも地域のクラスター対策で DMAT を派遣するなどその時々でミッションを実現させていく姿には底力の強さを改めて痛感いたしました。

このような素晴らしい病院で短い間でしたが勤めることができましたことに

感謝の思いで一杯です。また久原会のメンバーとして 2021 年度からは副看護部長として名を連ねさせていただいたことは光栄でした。ただコロナ禍のために一度も会合が催されないまま、何もお役目を果たせず諸先生方、先輩方とも親睦を図ることが叶わなかったことは心残りです。コロナ終息の折に、是非、皆様と笑顔でお会いできますことを楽しみに新天地で精進していく所存です。

末筆ではございますが、久原会皆様方のご発展、ご多幸を心よりお祈りいたします。